

報道関係者各位

2025 年 7 月 18 日

『Esquire（エスクァイア）』日本版、新編集長に近藤智之が就任
インターナショナルなメンズメディアとしてさらなる飛躍を目指す

株式会社ハースト婦人画報社（本社：東京都港区、代表取締役社長：ニコラ・フロケ）は、2025 年 7 月 18 日付で『Esquire（エスクァイア）』日本版の新編集長に近藤智之が就任することをお知らせします。近藤は雑誌と『Esquire Digital』の両方のエディトリアルを統括していきます。



Photo: Norihiko Okimura

『Esquire』日本版は、ファッションやライフスタイル、アート、デザイン、ジャーナリズムをシームレスに結びつけた良質なコンテンツを届けるグローバルメディアです。2025 年 2 月に、雑誌をリニューアルし、“Focusing on all creativity with a journalistic eye（創造の物語を、ジャーナリスティックな目線で）”をテーマに、35～45 歳の探求心と好奇心旺盛な新富裕層をコアターゲットとしました。

また、『Esquire Digital』は、テクノロジーやフィットネスなど、より幅広いジャンルのコンテンツを発信。今年はデジタルビジネスの売上が前年を大きく上回り、倍増のペースで推移しており、特にファッション、自動車、時計などの動画が好評です。

前任の佐藤俊紀より編集長のバトンを引き継ぐ近藤は、出版社のライフスタイル誌にてファッションや時計を中心にカルチャー全般をプリントとデジタルの両面で担当。直近3年はユニクロのグローバルマガジンの編集やシーズンカタログのクリエイティブディレクションなどを担当してきました。メディアと事業会社の両方の視点を持ち合わせ、グローバルなネットワークを強みに、新生『Esquire』のさらなる飛躍をリードしていきます。

■ 新編集長の近藤智之よりご挨拶

メディア業界が大きな変化と挑戦の時代を迎える中で、その一翼を担えることを大変光栄に思っております。1933年のアメリカ創刊以来、『Esquire』は「Man at His Best」をコンセプトに、時代ごとの“理想の男性像”を探究し続けてきました。この精神は、現代を生きる私たちにとって、より良く生きるための美的感覚と価値観を提示し続けている姿勢だと考えています。目まぐるしく変化する時代においても、普遍的で時代を超えた価値は、常に人々の心に深く刻まれ続けます。私たちが追求するのは、一過性の流行にとどまらない、長く愛される本物の美意識と知性です。

新生『Esquire』日本版は、東京を起点に、世界中の都市生活者のライフスタイルをグローバルな視点から探究し、ファッション、アート、フード、トラベル、時計や車など多様な分野において、現代的でありながら本質を見極めた価値を提案していきます。また、「美と実用性の調和」という考え方のもと、日本独自の美しさと機能性を深く掘り下げると同時に、日本および世界に向けて、その価値を力強く発信してまいります。

『Esquire』の新しい時代の幕開けにご期待ください。

■ 近藤智之（こんどうともゆき）プロフィール

明治大学法学部を卒業後、編集プロダクション・出版社にてファッション誌・広告の編集を経て、2014年に阪急コミュニケーションズ（現CEメディアハウス）に入社。2020年雑誌『Pen』副編集長に就任し、2021年『Pen』オンライン編集長を兼任。2021年11月より株式会社ファーストリテイリングに入社し、GLOBAL CREATIVE LAB TOKYOのマネージャーとして、世界各国のクリエイティブチームと連携し、ユニクロ全体のブランディング向上を担う。また、フリーマガジン『LifeWear magazine』の編集およびクリエイティブディレクションを担当。2025年7月よりハースト・デジタル・ジャパンに入社、『Esquire』日本版の編集長に就任。

< [Esquire] について >

1933年にアメリカで創刊。世界20エディションを展開し、“Man at His Best”を掲げる国際的なメンズメディアです。グローバルな視点で森羅万象に目を向けるジャーナリズムを特徴とし、2025年には、90年超の歴史で初めてアメリカ版の記事が特集記事部門でピューリッツァー賞を受賞。

『Esquire』日本版は、あらゆる創造を愉しみ、本質を見極め、美意識を持った読者と共に、未知を探究し、伝え続けることを目指しています。雑誌を 2025 年 2 月にリニューアルし、年 4 回発行。

<https://www.hearst.co.jp/brands/esquire/>

< ハースト婦人画報社／ハースト・デジタル・ジャパンについて >

株式会社ハースト婦人画報社は、アメリカに本社を置き、世界 40 か国で情報、サービス、メディア事業を展開するグローバル企業、ハーストの一員です。株式会社ハースト・デジタル・ジャパンは、2016 年に設立された株式会社ハースト婦人画報社の 100% 子会社です。

1905 年に創刊した『婦人画報』をはじめ、『ELLE（エル）』、『25ans（ヴァンサンカン）』、『Harper's BAZAAR（ハーパース バザー）』、『Esquire（エスクァイア）』などを中心に、ファッション、ライフスタイルなどに関する多数のデジタルメディアの運営と雑誌の発行を手掛けています。『ELLE SHOP（エル・ショップ）』をはじめとする E コマース事業も収益の柱に成長。近年はクライアント企業のマーケティング活動をトータルにサポートする『HEARST made（ハーストメイド）』、データに基づくブランドマーケティング支援を行う『HEARST Data Solutions（ハースト データ ソリューションズ）』を立ち上げるなど、コンテンツ制作における知見にデジタルとデータを融合した企業活動を展開しています。また ISO14001 を取得しサステナビリティに配慮した経営を実践しています。

コーポレートサイト：<https://www.hearst.co.jp>

Instagram：[@hearstfujingaho](https://www.instagram.com/hearstfujingaho)

X（旧 Twitter）：[@hearstfujingaho](https://twitter.com/hearstfujingaho)

LinkedIn：<https://www.linkedin.com/company/hearst-fujingaho>